



元気とタイムリーな情報を提供する

五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐 勉 平成27年10月05日 第736号「週刊五十嵐レポート」

事業相続の戦略

ある事業承継対策セミナーの講師として招かれました。事業承継の手順は事業承継を構成する大事な要因を明確にする。その大事な要因のウエイト付をする。その要因の解決策を立てる。解決策を文章にし、形あるものにする。解決策を実行に移す。

それでは、大事な要因とは、株式・土地・お金などの財産類の承継。社長の地位・役職の承継。事業活動において成功・失敗から得た戦略知識。リーダーシップなどの知識を体系的にまとめたものの承継。人脈の承継。大きく分類するとと(+ +)。は財産。(+ +)は経営の知識・技術・実行力。大事な要因のウエイト付は、:(+ +) = 30:70。

「子供に魚を与えるな。魚の釣り方を教えよ」という格言があります。魚(財産)を与えることは「その場しのぎ」。魚の釣り方(知識)を教えたと「一生食べていける」。しかし、多くの「事業承継対策セミナー」の90%は財産の承継。なぜか。財産は目に見える。財産には相続税が課税される。経営知識や技術は目に見えない。税金は1円もかからない。見える財産に注力しがち。

後継者に伝えているものとして、日本では近江商人。家訓を残しています。世界では、ユダヤ人。彼らは国を追われたことから、財産は奪われたり、失ったりするが、知識は(頭の中にあるので)奪われることはない。知識は豊かにさせ、幸せを運んでくる。ユダヤ人は日曜日を考える日にしている。1週間のはじまりは日曜日から。考えるとは、じっくり学習し、熟考し、計画すること。月曜日から実行する。日曜日に6時間考えるとしたら、10年では3,000時間になる(6時間×50週×10年)。(ちなみに「五十嵐レポート」は4時間×50週×15年 = 3,000時間。「町コン経営塾」は2時間×約600回 = 1,200時間)

息子が今年から某企業の社会人。週1回ランチェスター戦略教材DVDを3時間観て感想文や明日から会社でできることを書いてもらいます。考える日の習慣化です。実験です。

ちょっと
気になる出来事

10月1日(木)、税理士向け会員制「ランチェスター戦略実践研究会」がありました。

町コン経営塾銀座校塾長の曲淵博史税理士が先日、「イタリア視察」に行かれました。そのときの話をさせていただきました。

イタリアの元気な小規模企業(ファミリー企業)を見てきました。革製品製造、繊維関連等。

過去、日本企業の台頭などで厳しい時代があったが、まともに競争を避け、高品質・高価格帯へ進出し、頭角を現した。農業もしかり。

規模を追わず、1人当たりの利益を重視。経営陣と従業員の関係はまさに家族。「足るを知る」。みんなが幸せ。

日本は良い品質を安く提供して、自分の首を絞めている。高品質なら高く売ってもいいのでは。その先に幸せがある。

イタリアのファミリー企業はランチェスター戦略は知らなくても「弱者の戦略」は知っているようです。



一口メモ
知識

店舗の管理形態 その3

【フランチャイズ組織】

フランチャイズとは、メーカーや卸売業者、サービス業者がフランチャイザーとなり、独立事業者をフランチャイジーとして契約を交わして作られた組織である。フランチャイジーはフランチャイズ・システムにおいて、1店ないしは複数の店舗を有し、かつ運営する権利を購入する。フランチャイズ組織と他の契約型システム(ボランタリー・チェーンや小売協同組合)との主な違いは、フランチャイズ組織が通常のフランチャイザーの開発したユニークな商品またはサービス、事業方式、商標名、のれんまたは特許を基礎としている点である。

フランチャイザーの受け取る手数料は、頭金、総売上高に対するロイヤリティ、設備に対するリース料、利益の配分などさまざまである。

フィリップ・コトラー、ゲイリー・アームストロング「新版 マーケティング原理」より

「町コン経営塾」小岩校 毎週日曜日 午前10時~12時

「町コン経営塾」小岩校 土日集中講座 HP参照

「町コン経営塾」銀座校、武蔵村山校開講中。

㈱五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051東京都江戸川区北小岩6-21-5

03-3659-7703 Fax 03-3659-7077 i-daruma@igarashireport.com

